

日 体 大 報

日本体育大学
東京都同窓会会報

第24号

平成30年12月1日発行
発行者 東京都同窓会長

高田 幸一

後期の役員会

活動に向けて

会長 高田幸一

皆様のご協力で無事に前期を終え後期役員会を迎えます。平成最後の総会は、役員一同の協力を得て盛大に行うことができました。参加して頂いた皆様にごより感謝申し上げます。世代交代を考慮しながら、東京都同窓会の新会員の獲得に知恵を絞り魅力ある組織にしていきたいと思います。任意団体としての課題もありますが、全国同窓会としてのつながりを持ち、志を共に東京都同窓会として組織力を付け、保護者会と連携して活動を発展させる必要があります。新会員の獲得をはじめ、同窓会士の情報を共有することが求められています。今後、会員の皆様が参加してよかつ

たと思える活動を積み上げることが必要だと考えます。

次に、規約改正委員会は、活動内容や方策が迅速に運営しやすいように改善を図っています。また、同窓（部活動）ネットワーキング、企業ネットワーキング、卒業年度ごとネットワーキング、趣味のネットワーキング等を含め確立が必要と考える。等の様々な繋がりをしっかりと東京都同窓会がつくる。同時に若い人が参加しやすいように努力していきます。

東京都から全国に情報発信し、全国同窓会と連携し学生支援に役立つことをしていきます。今後とも東京都同窓会をよろしく願います。

支部活動について

教育実習特別講師にご協力いただいていた各支部の中・高等学校の日本体育大学の卒業生名簿を調査していただきます。ありがとうございます。

ぜひ今後とも名簿を整備していただく所存です。後期も是非協力をお願いいたします。

三十年度総会について

三十年度は、保護者会と連携し各役員が時間的に余裕を持つて運営・実施できました。大学関係者・保護者会も忙しい時期なのに多数参加して頂き大いに盛り上がりました。今後も多く参加者に満足が得られるよう事業の検証もしていきます。また、豊田氏を

招聘した研修会には二百名近くの方が聴講され好評のうちにと終わることができました。次年度も研修会が実りあるように、懇親会の参加を充実するために工夫していきます。

教育支援委員会について

大学から出された七十歳という世代交代の現実を真摯に捉え、東京都同窓会は人材育成にしっかりと取り組むことを始めました。具体的な動きは、昨年度より教育実習指導の研修会を開き新たな人材育成を図っています。今年も推薦者の要請をし、十名以上の新たな教育実習指導者を養成する計画です。皆様のご協力よろしく願います。

大学と連携して一次教員採用試験対策に協力支援していきます。きめ細かい指導の継続を基本に大瀧委員長を中心に計画的に行われています。

広報委員会

三十年度現在、東京都同窓会のホームページが開設されています。この情報発信は、東京都同窓会の活動の状況と何が目的でどのように行われているのか、これから何が必要になるのかを皆さんと情報共有します。情報提供の中で新たな同窓の参加を期待できると考えます。同窓が様々な場面で親睦を深めている活動を紹介し、新たな交流も期待できると考えます。情報管理を適正に行い、同窓や学生・保護者に必要な情報が得られる体制を整えていきます。定期的な更新は大変な労力と費用が必要です。この部分で広報委員会の支援を厚くしていきます。ホームページが活用できる皆さんに愛されるものにしていきます。どうかコン

関東・北信越地区協議会 全国女子の会

今年度十月二十七日、二十八日神奈川県主催で、箱根で開催されました。また、青森で女子の会が十一月三十日、十二月一日に開催されました。

最後に東京都、各県同窓会は、世代交代、若き世代の会員獲得が喫緊の課題と言われて久しいです。私たちの先達が戦後、各分野に橋頭堡を築きました。それを引き継ぎ育てることも大きな課題と考えます。東京都は、年会費は集めず寄付金で運営しています。NPOや社団法人をつくらな

いとすると以上は、活動費用が発生し、その報告は活動実績という人の動きを表す現実があります。活動を続けていくことは、寄付に頼り制約を受けるといことです。活動をさらに充実し、親睦と大学支援を行うならば再考していく必要性を考えています。今後とも皆様のご協力とご支援で成り立っています。よいご意見を東京都同窓会にお聞かせください。今後とも宜しく願います。

平成三十年度
東京都同窓会
研修会・総会・懇親会報告

都同窓会幹事長
関 敦彦



平成三十年度日本体育大学
東京都同窓会研修会・総会・懇
親会は六月二十三日(土)に盛
会の内に終了いたしました。

研修会は、本年も東京都保
護者会との共同で行い、講師
に本学昭和三十二年卒の千葉
大学名誉教授で有り、日本バ
レーボール協会副会長などを
歴任された豊田博氏を迎え、
「これからのスポーツ指導へ
の提言」と言うテーマでご講
演をいただきました。
参加者は本会会員六十数名、
東京都保護者会六十数名、本

学学生(男女九人制バレーボ
ール部員、ダンス部員)百数
名、総勢二百二十名以上が参
加し、会場の一三〇一教室が
満員となり、真剣に耳を傾け



メモを取る姿がありました。
豊田先生も話しに熱が入り、
時間をオーバーするほどの講
演でした。最後に保護者会代
表から謝辞が有り、花束の贈
呈で閉会しました。

総会は、五階大会議室で行
い、高田幸一会長挨拶に始ま
り、笠井里津子日本体育大学
副学長挨拶に続き、小林正利
日本体育大学アドミッション
センター長より大学の近況報
告がありました。

さらに、瀧澤康二日本体育
大学同窓会会長より挨拶があ
りました。

来賓の方は、日本体育大学
教職支援センター長・後藤彰
様 日本体育大学教職支援セ
ンター事務長・市原正明様
日本体育大学関東女子の集
い・大淵恵美子様 日本体育
大学関東女子の集い・長野し
のぶ様が紹介されました。

引き続き、日本体育大学同
窓会表彰を行い、日本体育大
学同窓会会長・瀧澤康二様よ
り、次の日本体育大学同窓会
表彰者(敬称略)に賞状が授与

されました。



岡田信之(S22)、砂田慶二
(S25)、小橋川和子(S28)、五
石秀治(S28)、関毅彦(S30)、

角杉美恵子(S26)、山本収太朗
(S27)、金城和貞(S21)
議事は、会則の改定、平成
三十年度役員、会務・会計報
告、会計監査報告が事務局よ
り報告され、参加者にお認め
いただきました。

懇親会は、一階のNレスト
ランで行われ、旧交を温める
場となりました。
ダンス部学生にもお手伝い
いただき、昭和と平成の交流
の場となりました。

参加者は、保護者会からも
次年度の新役員さんが挨拶に
見え、八十人を超える参加者
となりました。

途中、年度代表者からの一
言も有り、話が長いとチーン
とベルをならされるなど、大
いに盛り上がり、校歌・寮歌・
荏原体育も声高らかに歌い上
げ、予定を若干オーバーし終
了いたしました。

お帰りの際、どら焼きのお
土産が渡されました。
また来年もよろしくお願
いいたします。

教育支援委員会より
委員会の運営と
今年度の教員採用
選考の結果報告
教育支援委員会委員長
大瀧 吉夫

平成三十一年度第一回東京都同窓会教育支援委員会が開催されました。今年度の委員長に推薦されました大瀧吉夫です。又、今年度より新たに凶師透、星越健一、河合朝晴の三人の先生方をお迎えし、顧問として元支援委員長・野口一矩先生からの助言を頂き、委員会をスタートすることができました。どうぞよろしくお願い致します。

会の初めに私から支援委員会の設置目的を再確認させていただきます。

一つは大学側の依頼による都内教育実習生の事前指導に加え、実習期間中の巡回指導、そして実習終了後の事後指導です。

二つ目は東京都教員採用試験受験希望者に向け、本学の一年生から四年生・既卒者を対象に準備講座の開催です。

以上の二つの運営を同窓会の協力を得ながら推進するこ

とを全員で共通理解することができました。

さて、運営する一つ、教育実習生の巡回指導の件ですが、大学側から巡回指導員の年齢規定の通知もあり、来年度から七十歳以下の先生方となりました。長年にわたり教育実習生の指導等に携わって下さった多くの先輩の先生方には支援委員会より深く感謝とお礼を申し上げます。

二つ目は採用試験準備講座です。今年度は三回の講座を企画しました。内容は教育小論文の書き方指導と添削、面接の心構えと実践演習でした。講座参加者は既卒者を含め四十九名でした。採用試験結果報告では受験者十五名のうち一次合格者は十三名、そして見事に二次合格者は十名と受験者の健闘を称えたいと思います。

受講参加者では一年生から三年生が圧倒的に多いため、受験者への指導が手薄になりかねないという反省から、来年度は取り組みを見直し、受験者と一年生から三年生の受講日を変え講座を年間六回実施し対策講座の充実を図ることにしました。

受講生の中には東京都の教員を目指している一年生・二年生が十五名、熱心に取り組んでいる姿を見て二年後、三年後に彼らの夢を実現させたいと強く感じました。今後とも同窓会の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

平成三十一年度
関東・北信越地区協議会
神奈川大会報告
都同窓会幹事長
関 敦彦

平成三十一年度関東北信越地区協議会が、平成三十年十月二十七日(土)・二十八日(日)に神奈川県主催で箱根湯本ホテルにおいて行われました。東京都から、高田幸一会長、竹内定雄副会長、角杉美恵子副会長、関毅彦幹事長が参加しました。

高田会長は、関東・北信越地区協議会の会長でも有り、この会のまとめ役でもあります。

余談ではありますが、ホテルの社長は日本体育大学の卒業生でも有り、お父様が第7代学長、塔尾武夫氏で有り、お祖母さまがダンスの後藤ツヤ氏だそうです。

大学側からは、法人理事長松浪健四郎氏、法人常務理事今村裕氏。学長 具志堅幸司氏、子

教職支援センター事務長 市原正明氏、校友課 同窓会担当 永塚聖美氏、全国同窓会より、会長 瀧澤康二氏、幹事長 塩谷和雄氏が参加されました。

全体会Ⅰ、第一分科会(会長・副会長)、第二分科会(企業部・女子部・就職担当)、第三分科会(事務局・幹事長)、全体会Ⅱと行われ、全体会では協議事項の審議と各分科会では各都県の情報交換が行われました。

全体会Ⅰでは、①ブロック編成について②関東・北信越地区協議会会則について。第一分科会(会長・副会長)は、審議事項となっている地域の再編成について意見交換が行われました。「竹内定雄」

第二分科会(企業部・女子部・就職担当)では、①企業部の活性化、②女子の活動状況、③就職について話し合われました。実践例として「企業とは？」から見直を図り、行政との関わり等現状に合った組織の改編や保護者会との連携や県人会、学生支援の取り組みを通して学生の横のネットワークを広げ、学生をU

ターンさせる取り組みなどが報告されました。「角杉美恵子」

第三分科会(事務局・幹事長)では、各都県の地区同窓会運営の工夫と課題が話し合われ、会員の確保、運営資金の確保、広報活動などについて意見交換が行われました。

また、大学、校友課(本部同窓会)からの、支援などについても連絡がありました。

このなかで、多くの都県で保護者会との連携が行われていることが報告されました。

また、県人会との連携している県が二県ほど有りました。

全体会Ⅱで、協議事項の今後の方針が報告と、各分科会の報告が行われ、会は修了しました。その後の懇親会で、他県とのさらなる情報交換が行われ、懇親も深まりました。

また、大学、校友課(本部同窓会)からの、支援などについても連絡がありました。

このなかで、多くの都県で保護者会との連携が行われていることが報告されました。

また、県人会との連携している県が二県ほど有りました。

全体会Ⅱで、協議事項の今後の方針が報告と、各分科会の報告が行われ、会は修了しました。その後の懇親会で、他県とのさらなる情報交換が行われ、懇親も深まりました。



第三回東京都同窓会
ゴルフ研修会報告

副幹事長(行事統括)

高梨 昭

昭和四十七年卒

平成三十年八月二十七日(月)山梨県花咲カントリー倶楽部で開催されました。

今年には異常な猛暑、毎日三十五度を超える日が続いていました。当日も猛暑、そんな日でも二十四名の日体大同窓生が集まりました。今回は残念ながら女性の参加がありませんでした。松浪健四郎理事も参加の予定でしたが公務の為、不参加となりました。

今回のコンペは、スループレーで企画しました。少し早いのですが猛暑の関係で6時現地集合で、第一組がインとアウトに分かれ七時前にスタートしました。当日も晴天で朝から二十五度を超えています。花咲カントリー倶楽部は甲府盆地に位置するので無風蒸し暑くプレーするには大変です。それでも皆さんゴルフがお好きなのでしょう、暑さにもめげずにはつらつとプレーに励んでいました。スループレーで第一組が十八ホールラウンドし終了してきた時間は十一時頃で、最終組も十一

時半には終了しました。参加者全員リタイヤせず無事に終わる事が出来ました。

皆さん入浴後、コンペルームで食事を兼ねて懇親会。その後結果発表。皆さん誰が優勝なのか興味津々、新ペリなので誰にはまるか分かりません。結果は七十九回で回った中垣さん(三十四年卒)でした。中垣大先輩は第一回目の優勝者です、今回はそしてエージシュート(age shoot)です。歳は80を超えているとのこと。スパージュイーさん(失礼ですね)。二位大滝さん(四十七年卒)三位涌井さん(四十八年卒)でした。結果発表の後、中垣さんからゴルフの技術指導が行われ二十分ほどの講習会でした。やはり優勝するだけあってとても理論派です、そして最後は恒例のプレー、プレー、プレー日体大のエールで閉めました。

ところで、優勝者の中垣さん、二位大滝さん、三位涌井さん達は、いつ頃からゴルフを始めたのでしょうか。日本体育大学在籍時代にはゴルフはやっていなかったでしょう。私も四十七年卒です。当時学生時代にゴルフをやっていた人は一握りでした。私は四年生のキャンプ実習の選択で伊豆高原でやった記憶がありま

す。中垣さんの時代は実習でゴルフをやられていたのでしょうか。当時本学にもゴルフをやっていた仲間もいました。ゴルフ同好会です。私の仲間が初めてゴルフ同好会を設立し、今の世田谷キャンパス(健志台キャンパスは無い時代)の隅で野球のネットを使って打っていた姿があり、それも部員は十人程度です。今はプロを排出する程の学友会で部員も百名程いるそうです。ゴルフは今ではメジャー、私たちの時代はマイナー。ゴルフの話題を作った石川遼、世界に通用した松山英樹、女子ゴルフを盛り上げた宮里藍。今の時代は老若男女ゴルフを楽しむんでいます。東京都同窓会のゴルフ研修会も沢山の同窓が集まり、技術向上と親睦が出来るという願いがあります。是非、お知り合いがおりますら声をかけて参加して下さい。

次会は十二月二十七日(木)花咲カントリー倶楽部です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

編集後記

2018年の夏は猛暑でたいへんでした。この冬はエルニーニョ現象で暖冬になるとの予報が出ています。ゲリラ豪雨をはじめここ数年の異常気象は、私たちの生活にもいろいろな影響があるようです。さて、広報誌「日体魂」も24号発刊となりました。ご執筆いただいた各位には心より御礼申し上げます。「日体魂」をより良く魅力あるものにするため、同窓の諸氏におかれましては、誌面に対するご助言やご寄稿をお願いできればと望んでおります。「日体魂」で取り上げること、都同窓会ホームページ取り上げることがを精査しながら、より良い情報提供を行って参ります。「日体魂」もホームページも、まだまだ体裁も内容も不十分ですので、これからも、よりよい広報誌、ホームページになるようご協力をお願いいたします。

ホームページをご覧いただくには、アドレスバー(ネットの画面の左上にあります)に
www.nittai-doso-tokyo.jimdo.com と入力してください。

ご要望など、東京都同窓会ホームページ事務局連絡フォームか、
vzk00103@gmail.com に直接メールをお送りください。

東京都同窓会 広報委員会委員長 角杉美恵子